

社会資本総合整備計画				社会資本整備総合交付金				令和07年01月20日						
計画の名称	豊かな地域資源を活かした九州横断観光活性化計画（重点③）													
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	長崎県													
計画の目標	九州を横断する長崎県・熊本県・宮崎県では、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石灰産業」（H27世界文化遺産登録）や「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」（H30世界文化遺産登録）等の貴重な文化遺産、さらに、ユネスコ世界ジオパーク、日本ジオパーク、ユネスコエコパーク、世界農業遺産に登録されている変化に富んだ地形や雄大な自然景観・その他で育まれた伝統文化等を有しており、これら観光資源を最大限活用すべく、各地方機関や観光団体、民間企業により、観光活性化に向けたルートの設定等を実施している。また、九州横断自動車道（山都中島西IC~矢部IC（仮称）：令和5年度完成目標）の開通と併せて既存交通網と連携強化を図ることで、長崎県・熊本県・宮崎県における観光客の更なる増加が期待できる。 九州圏広域地方計画の広域連携プロジェクト「九州圏に活力をもたらす交流・連携の促進プロジェクト」を促進するため、交通拠点（新幹線駅、高速道路IC、空港、港湾等）と拠点施設（景勝地、歴史資料館、温泉街等）、拠点施設間のアクセス道路、観光案内及び観光PRなどを広域的に連携して整備することによりアクセス性や利便性を向上させ、広域的な観光活性化を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		17,992	A	17,992	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1	R7	R9
1	【長崎県・熊本県・宮崎県 共通目標】観光入込客数8,807万人（R1）から9,286万人（R9）に増加（479万人（5％）の増加）			
	【長崎県・熊本県・宮崎県 共通目標】観光入込客数 （観光入込客数の増加）＝（評価時点の年間観光入込客数）－（R1の年間観光入込客数）、（観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数）／（R1の年間観光入込客数）	8807万人	9074万人	9286万人
2	【長崎県 単独目標】長崎県全域における観光入込客数3,471万人（R1）から3,732万人（R9）に増加（261万人（7％）の増加）			
	【長崎県 単独目標】長崎県における観光入込客数 （観光入込客数の増加）＝（評価時点の年間観光入込客数）－（R1の年間観光入込客数）、（観光入込客数の増加割合）＝（観光入込客数の増加）／（R1の年間観光入込客数）	3471万人	3627万人	3732万人
3	【長崎県 単独目標】世界遺産関係施設の入園者数及び上陸者数101万人（R1）から125万人（R9）に増加（24万人（23％））の増加			
	【長崎県 単独目標】グラバー園の入園者数、端島における上陸者数 （来訪者数の増加）＝（評価時点の年間入園者数及び上陸者数）－（R1の年間入園者数及び上陸者数）、（来訪者の増加割合）＝（来訪者の増加）／（R1の年間入園者数及び上陸者数）	101万人	115万人	125万人
4	【長崎県 単独目標】多比良港から拠点施設（原城跡・平成ネイチャーセンター）への平均総アクセス時間88分（R1）から84分（R9）に短縮			
	【長崎県 単独目標】多比良港から原城跡・平成ネイチャーセンターへの平均アクセス時間 （合計平均アクセス時間の短縮）＝（R1の合計平均アクセス時間）－（R9の合計平均アクセス時間）	88分	86分	84分

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
○全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、5.0％となる。○観光客数の当初現況値は新型コロナウイルス流行前のR1とする。○その他事項については（参考様式2）整備計画関連事項に記載。○指標2について、拠点施設に長崎空港（離島便を有する）を含むため離島を含む長崎県全域を対象とする。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	道路	一般	長崎県	直接	長崎県	都道府 県道	改築	（一）礪石原松尾町停車 場線（大手原工区）	バイパス L=400m	島原市	■	■	■	■		500	1.02	－
	A11-002	道路	一般	長崎県	直接	長崎県	国道	改築	（国）324号（茂木拡幅）	現道拡幅 L=140m	長崎市	■	■	■	■	■	300	1.11	－
	A11-003	道路	一般	長崎県	直接	長崎県	国道	改築	（国）389号（多比良バイ パス）	バイパス L=1,000m	雲仙市	■					350	1.02	－
	A11-004	道路	一般	長崎県	直接	長崎県	国道	改築	（国）389号（国見拡幅）	現道拡幅 L=2800m	雲仙市	■	■	■	■	■	1,200	1.17	－
	A11-005	道路	一般	長崎県	直接	長崎県	都道府 県道	改築	（一）雲仙千々石線（木 場工区）	現道拡幅 L=240m	雲仙市	■	■	■			320	1.08	－
A11-006	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	地方港 湾	改良	島原港（外港地区）	浮棧橋(改良)1基、可動橋(A) (改良)1基、可動橋(B)(改良) 1基、防波堤(航路保全)L=250 m	島原市／島原港 ・外港地区	■	■	■	■	■	755		－	
	有効活用事業のため、費用便益比算出は対象外																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-007	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	地方港湾	改良	多比良港（多比良地区）	可動橋（改良）1基	雲仙市／多比良港・多比良地区	■	■	■			10		—
		有効活用事業のため、費用便益比算出は対象外																	
	A11-008	提案	一般	長崎県	直接	長崎県	—	支援事業	島原半島への観光客輸送支援	ターミナル（改良）1式	島原市	■	■	■			15		—
		港湾事業（A11-006）の整備と一体となって、島原港のボーディングブリッジの改良を行うことで、利用者の利便性向上を図る。																	
	A11-009	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要港湾	建設	長崎港（松が枝地区）	緑地(B)A=1.2ha、道路(A)L=460m	長崎市／長崎港・松が枝地区	■	■	■	■	■	4,588	2.0	—
	A11-010	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	重要港湾	改良	長崎港（元船地区、常盤・出島地区、福田地区）	浮棧橋(改良)(1)1基、浮棧橋(改良)(5)1基、岸壁(-6m)(改良)L=130m、緑地(改良)1式等	長崎市／長崎港・元船、常盤・出島、福田地区	■	■	■	■	■	2,720		—
		有効活用事業のため、費用便益比算出は対象外																	
A11-011	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	地方港湾	建設	大村港（箕島地区）	浮棧橋(A)1基、浮棧橋(B)1基、護岸L=75m、沖防波堤L=140m、北防波堤L=40m	大村市／大村港・箕島地区	■	■	■	■	■	4,400	2.1	—	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-012	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	地方港 湾	改良	時津港（浦地区）	浮桟橋(改良)1基、緑地（改 良）、道路(改良)L=136m、緑 地(改良)(2)	時津町／時津港 ・浦地区	■	■	■	■	■	500		－
		有効活用事業のため、費用便益比算出は対象外																	
	A11-013	提案	一般	長崎県	直接	長崎県	－	支援事 業	五島列島への観光客輸送 支援	ターミナル（改良）1式	長崎市	■	■	■	■	■	384		－
		港湾事業（A11-010）に合わせ、五島列島定期航路のターミナルにて、Wi-Fi環境整備やボーディングブリッジの更新等を行い観光客への利便性の向上を図る。																	
	A11-014	提案	一般	長崎県	直接	長崎県	－	支援事 業	観光誘客のための地域活 性化事業支援	緑地（改良）1式	長崎市	■	■	■	■	■	50		－
		港湾事業（A11-010）に合わせ、隣接する緑地で給排水設備等の整備を行い、イベント等を開催しやすい環境を整備し観光誘客のための地域活性化を図る。																	
	A11-015	提案	一般	長崎県	直接	長崎県	－	支援事 業	訪日観光客等による地域 振興を核とした港湾整備 検討支援	内港地区再開発検討、クルー ズ船誘致のための受入れ支援 検討、洋上風力等、カーボン ニュートラルを活用した地域 振興検討	長崎市	■	■	■	■	■	300		－
		港湾事業(A11-009)(A11-010)と一体となり、港湾施設開発の検討を実施することで、観光客の玄関口である長崎駅から世界文化遺産の構成施設と連携した地域振興を推進する。																	
										小計							16,392		

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域活性化事業	A11-016	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	—	支援事 業	観光客の満足度向上及び 受入体制強化支援	ターミナル(改良)1式、来訪 者交通ルート(改良)1式、ク ルーズ観光客受入施設(改良) 1式 他	長崎市		■	■	■	■	1,000		—	
		港湾事業(A11-009)(A11-010)により整備される港湾機能の向上に併せ、更なる観光客受け入れ体制の故由香及び満足度向上を図る																		
	A11-017	道路	一般	長崎県	直接	長崎県	都道府 県道	改築	(一) 俵ヶ浦日野線（船 越工区）	バイパス L=600m	佐世保市			■	■	■	600	1.21	—	
											小計							1,600		
											合計							17,992		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

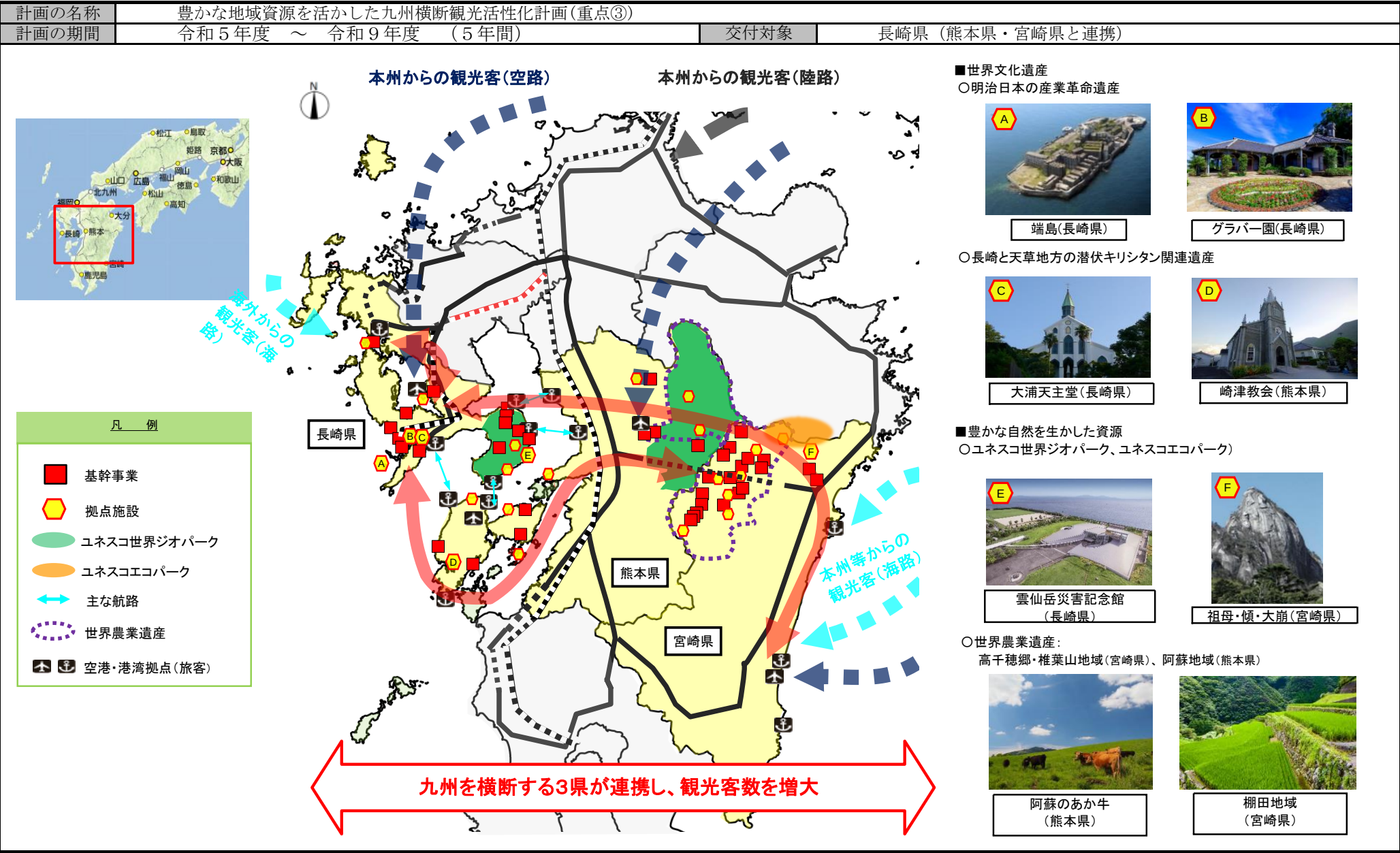
	R05	R06			
配分額 (a)	1,425	333			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	1,425	333			
前年度からの繰越額 (d)	0	870			
支払済額 (e)	555	988			
翌年度繰越額 (f)	870	215			
うち未契約繰越額(g)	434	79			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	30.45	6.56			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	地元調整及び用地交渉等に 不測の日数を要したため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 豊かな地域資源を活かした九州横断観光活性化計画（重点③）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。（国土形成計画全国計画）	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

(参考様式) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)



(参考様式) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)

